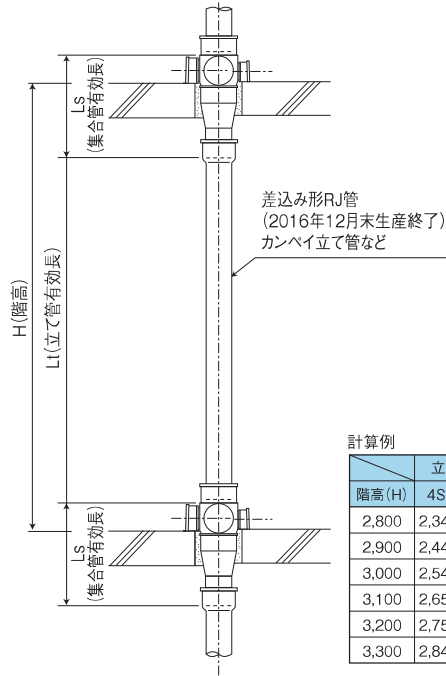


排水立て管寸法の割り出し方(例:4SL・4HF・5HF)

$$L_t(\text{立て管有効長}) = H(\text{階高}) - L_s(\text{集合管有効長})$$

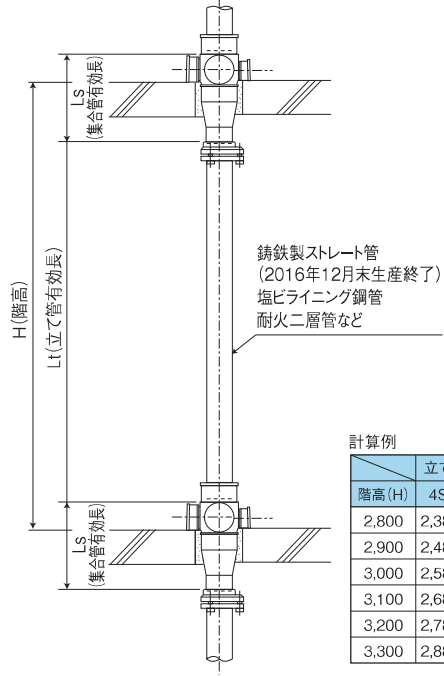
4SL-S:有効長460mm
4HF-S:有効長590mm
5HF-S:有効長640mm



計算例 (mm)

階高(H)	4SL	4HF	5HF
2,800	2,340	2,210	2,160
2,900	2,440	2,310	2,260
3,000	2,540	2,410	2,360
3,100	2,650	2,510	2,460
3,200	2,750	2,610	2,560
3,300	2,840	2,710	2,660

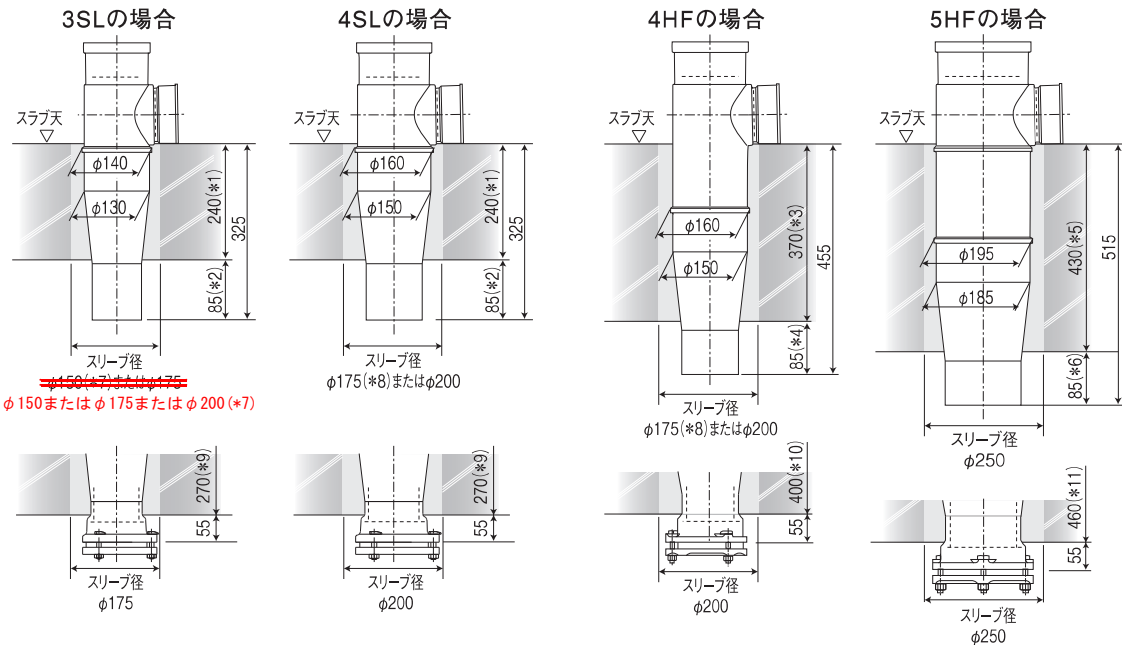
4SL-W/WKP:有効長420mm
4HF-W/WKP:有効長550mm
5HF-W :有効長600mm



計算例 (mm)

階高(H)	4SL	4HF	5HF
2,800	2,380	2,250	2,200
2,900	2,480	2,350	2,300
3,000	2,580	2,450	2,400
3,100	2,680	2,550	2,500
3,200	2,780	2,650	2,600
3,300	2,880	2,750	2,700

必要スリーブ径



- *1 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は220mm
- *2 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は105mm
- *3 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は340mm
- *4 ただし、差込み形RJ管またはカンベイ立て管(標準タイプ)と接続する場合。シンドカット巻の場合またはカンベイ立て管防振タイプと接続する場合は115mm
- *5 ただし、差込み形RJ管と接続する場合。シンドカット巻の場合は405mm
- *6 ただし、差込み形RJ管と接続する場合。シンドカット巻の場合は110mm
- *7 ~~カンベイ立て管との接続またはシンドカット巻の場合~~ カンベイ立て管との接続またはシンドカット巻のどちらかの場合は $\phi 175$ 、両方の場合は $\phi 200$
- *8 カンベイ立て管との接続またはシンドカット巻の場合は $\phi 200$
- *9 ただし、シンドカット巻の場合は260mm
- *10 ただし、シンドカット巻の場合は380mm
- *11 ただし、シンドカット巻の場合は405mm

流下の仕組み

排水集合管の構造

クボタカシリーズ
カンベイ君
カンベイ立て管

排水用鑄鉄管

機種指定の方法

4SL・4SLTほか

1
段校

3SL

4CL

4HF・5HF

4SLI・4SLTGほか

2
段校

4SF

最上階用
SV

特殊仕様
最下階用
SR

更新対応
4SSLほか

Lバンド

支持金具

シンドカット

関連商品

排水ヘッド

サニターバンド・VS

差込み形RJ管

QM継手

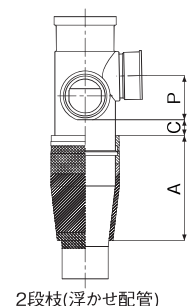
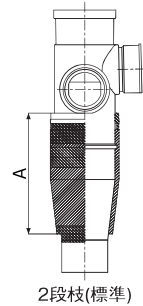
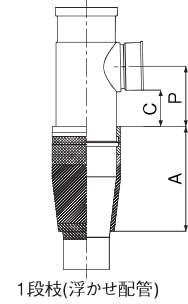
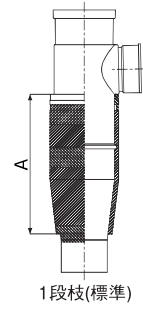
メカニカル形1種管

集合管システム
選定方法

接合手順

シンドカット 取り付け対応表

	集合管 機種	対応P寸法 (※1)	浮かせ配管対応 (※1)	シンドカット取り付け寸法(A寸法)(※1)		シンドカット 被覆後の 外径	シンドカット 適合 スリーブ径 (呼び)	
				片受けスタイル (S)	両受けスタイル(W) カンペイ君(WKP)			
1 段枝 (※2)	3SL	—	—	230	270	φ150	175 (※5)	
	4SL	—	—	230	270	φ170	200	
	4SLT	—	C=0(標準) ~ 90	350-C	390-C	φ170	200	
	4SLII-※0	—	C=0(標準) ~ 260	510-C	550-C	φ170	200	
	4SLTII-※0	—	C=0(標準) ~ 90、 120 ~ 380	630-C	670-C	φ170	200	
	4HF	—	C=0(標準) ~ 100	350-C	390-C	φ170	200	
	5HF	—	—	415	415	φ205	250	
2 段枝 (※3)	4SLII	上枝100	P200(※4) ~ 330	C=0(標準) ~ 330-P	580-P-C	620-P-C	φ170	200
		上枝75	P190(※4) ~ 320	C=0(標準) ~ 320-P	570-P-C	610-P-C		
		上枝65	P180(※4) ~ 310	C=0(標準) ~ 310-P	560-P-C	600-P-C		
		上枝50	P180(※4) ~ 300	C=0(標準) ~ 300-P	550-P-C	590-P-C		
	4SLTII	上枝100	P320(※4) ~ 450	C=0(標準) ~ 450-P	700-P-C	740-P-C	φ170	200
		上枝75	P310(※4) ~ 440	C=0(標準) ~ 440-P	690-P-C	730-P-C		
		上枝65	P300(※4) ~ 430	C=0(標準) ~ 430-P	680-P-C	720-P-C		
		上枝50	P300(※4) ~ 420	C=0(標準) ~ 420-P	670-P-C	710-P-C		
	4SLTG	上枝100	P110 ~ 160	C=0(標準) ~ 160-P	420-P-C	460-P-C	φ170	200
		上枝75	P90 ~ 150	C=0(標準) ~ 150-P	410-P-C	450-P-C		
		上枝65	P90 ~ 140	C=0(標準) ~ 140-P	400-P-C	440-P-C		
		上枝50	P80 ~ 140	C=0(標準) ~ 140-P	390-P-C	430-P-C		
	4SLTII	上枝100	P110 ~ 160	C=0(標準) ~ 160-P、 190-P ~ 450-P	700-P-C	740-P-C	φ170	200
			P170 ~ 190	C=190-P ~ 450-P				
		上枝75	P90 ~ 150	C=0(標準) ~ 150-P、 180-P ~ 440-P	690-P-C	730-P-C		
			P160 ~ 180	C=180-P ~ 440-P				
		上枝65	P90 ~ 140	C=0(標準) ~ 140-P、 170-P ~ 430-P	680-P-C	720-P-C		
			P150 ~ 170	C=170-P ~ 430-P				
		上枝50	P80 ~ 140	C=0(標準) ~ 140-P、 170-P ~ 420-P	670-P-C	710-P-C		
			P150 ~ 160	C=170-P ~ 420-P				
4SF	P240 ~ 760	—	260	—	φ192	250		



※1 10mmピッチにてご注文ください。
 ※2 RJ-VST-A、RJ-ST-NMのシンドカット巻も可能です。(A寸法380mm)
 ※3 2段枝モデルで上枝がU、Zの場合につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。
 ※4 下枝のサイズと取り付け位置により、+10~40mmとなる場合があります。
 ※5 カンペイ立て管との接続の場合は200となります。

振動絶縁材料

品名	ロックウールシート				エヌシーマット	ストレートシンドカット用テープ	
形状	340×1500×10t				30×2000×9t	50mm×20m	
梱包単位	8枚ダンボール箱入り				5枚入り	5本入り	
備考	参考取り数(管外周寸法+10mmで算出)					●片面のり付き ●1枚あたり約40枝分	●ロックウールシート取付用
	管種 呼び径	RJ铸铁管・鋼管	メカニカル形铸铁管	首長バンド	耐火二層管		
	75	4(340mm)	4(320mm)	4(350mm)	4(390mm)		
	100	3(420mm)	3(400mm)	3(435mm)	3(475mm)		
125	3(500mm)	3(480mm)	2(510mm)	2(560mm)			
記載の寸法は参考値です。ご使用の際は、必ず現物合わせで寸法をご確認ください。対応スラブ厚は、約300mmまでです。							

注意事項

- △ シンドカットの対応スラブ厚は、巻き付け寸法から10mmを差し引いた数値になります(最小180mm。カンペイ立て管との組み合わせの場合は最小150mm)。施工の際には、シンドカット取り付け部(A)の上端と下端がスラブの中に入らないようにしてください。
- △ 集合管枝管が直接スラブに接する場合、枝下に何らかの絶縁材を敷くことをおすすめします。弊社では、枝管下敷き用マット(エヌシーマット)をご用意しています。
- △ 集合管以外の躯体に接する配管部材についても、振動絶縁処理をおすすめします。弊社では、シンドカットと同材質のロックウールシートをご用意しています。
- △ 振動絶縁工法は、排水時にスラブに伝わる振動を低減する工法です。空気伝播音に対する対策には、別途遮音被覆などのご検討をお願いします。
- △ 配管施工後の貫通部の穴埋め処理では、モルタル充てん後に塗膜防水処理を施してください。(防水材は集合管本体の立ち上がり部まで塗布してください)